

平成24年行政事業レビューシート

(外務省)

事業名	国際熱帯木材機関(ITTO)拠出金(任意拠出金)		担当部局庁	国際協力局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	昭和62年度		担当課室	地球環境課		課長 杉中 淳	
会計区分	一般会計		施策名	VII-3 国際機関を通じた地球規模の諸問題に係る国際貢献			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第4条第3		関係する計画、通知等	1994年国際熱帯木材協定第20条2及び第21条2			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	ITTOは、熱帯木材消費国と生産国との間の政策協議の場に留まらず、熱帯木材生産国を中心に各種プロジェクトを実施し、途上国の経済発展と環境の両立を支援しつつ、持続可能な森林経営を促進するための事業を積極的にを行っている。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	ITTOの活動に対して、本部ホスト国として応分の貢献をし、その発展に寄与するため、我が国が特に重視している分野における以下のプロジェクトの実施経費を拠出する。 ・持続可能な森林経営促進のための生産国の能力強化支援 ・森林減少及び森林劣化の抑制						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input checked="" type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
		当初予算	467	184	144	118	116
		補正予算	-	-	-	-	-
		繰越し等	-	-	-	-	-
	計	467	184	144	118	-	
	執行額	467	184	144	-	-	
執行率(%)	100%	100%	100%	-	-		
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値(年度)
	持続可能的に管理された森林から合法的に伐採された熱帯木材の国際取引への転換と拡大及び熱帯木材生産林の持続可能な管理の促進。62ヶ国+EUが加盟		成果実績	持続可能に経営されている熱帯林は、2005年:ITTO統計対象地域8.59億haのうち3,640万ha(4.2%) 2010年:ITTO統計対象地域7.83億haのうち5,330万ha(6.8%)に増加したことがITTOレポートで報告されている。			
			達成度	%			
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	コロンビアにおける森林火災の予防、インドネシアとマレーシア・サラワク州の国境を越えた生物多様性保全の促進、ガーナにおける森林経営の確立に関するプロジェクトのほか、国連持続可能な開発会議(リオ+20)への参加支援活動等に拠出。		活動実績(当初見込み)	20	11	9	-
			実施プログラム	() () () ()			
単位当たりコスト	178,000ドル/プロジェクト		算出根拠	予算総額/プロジェクト数			
平成24・25年度予算内訳 (単位:百万円)	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	国際熱帯木材機関拠出金	118	116				
	計	118	116				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	熱帯林の適正な利用と保全は、地球環境の保全のみならず、気候変動抑制や生物多様性保全にも深くかかわっており、関心が高まっている。本事業は、国家間の商品協定に基づく、取り組みであり、国が実施すべき事業。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	—	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	プロジェクト選定にあたっては、実施政府または実施機関から示されるプロジェクトプロポーザルに、使途が明記されている。また、プロジェクト開始後に開催される運営委員会において、拠出金の使途や事業の進捗状況が実施政府・機関から報告され、不明な点などがあれば、適宜是正される体制となっている。
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	熱帯木材に関する唯一の商品協定であり、熱帯木材生産国では、当該機関の策定したガイドライン等が積極的に活用されている。ITTO加盟国は、アクションプランに基づき、プロジェクトの企画・立案を行っており、それらの取り組みにより持続可能な経営されている熱帯林の面積は増加しつつある。なお、当省はITTOホスト国としての責任を果たしつつ、世界的な環境問題の解決促進の観点から、林野庁は我が国の木材利用・輸入に係る政策ニーズ、国内産業への影響等の観点から有効と考えられる事業に拠出し、役割分担を行っている。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名 熱帯林減少・劣化抑止のための違法伐採対策推進事業／林野庁	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	我が国拠出案件については、各国で開催されるプロジェクト運営委員会において、案件実施のモニタリングを行っている。また、必要に応じて現場視察を行うことにより、各案件の目的実現や効果の発揮につき検証を行っている。さらに、年一回開催される理事会において、実施中の案件について報告がなされる場合も、内容を検証している。プロジェクト運営委員会や現地視察等を通じた案件実施状況の把握に引き続き務める。		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善		拠出額減額	
	上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)		
縮減		任意拠出金のうち優先事項を踏まえて減	
	補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)		
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー		91	平成23年行政事業レビュー 106